

当協会ホームページの会員用ページに当協会活動を定期的に報告します。

HP 事務局だより 平成24年8月～9月(予定分)

平成24年9月1日 常務理事 事務局長 甲賀 大樹

## 1. 法人業務

\* 当協会の公益社団法人への移行登記を8月1日に行い、旧法人解散、新法人設立となりました。ホームページ、用紙類、名刺、印章類、日本滑空記章カードなどの名義変更や版の作成に追加費用と工数がかかりました。

9月1日に新法人のもと最初の理事会が開催されます。その後開催される総会は追ってご案内申し上げますが、この理事会議案である(社)日本滑空協会平成24年4月から7月末までの期間の事業報告および決算報告ならびに(公社)日本滑空協会の平成24年8月から平成25年3月末までの期間の事業計画ならびに予算案を作成。それに伴う監事による監査が8月7日および8月10日に行われました。適用を受ける法人法では、事業計画、事業報告、予算案は会長が作成し、理事会の承認後、総会に内容報告し、内閣府に提出となります。貸借対照表及び損益計算書(正味財産増減計算書)は会長が作成し、理事会および総会の承認後、内閣府に提出となります。

\* 公益法人日本滑空協会役員名簿 敬称略あいうえお順

会長 佐藤淳造

常務理事 甲賀大樹、坂井正一郎、鈴木康一、三輪徳泰

理事 土屋宣幸、堀宏明、吉田茂、吉田正克

監事 谷口良知、山本隆章

\* 退任役員

会長 牧野健

理事 秋山崇道、板倉忠興、大平雅大、中澤愛一郎、中塚総一郎、中村暢宏、  
野田迪郎、万場泰雄、堀田省二郎

## 2. 滑空スポーツ統括・普及事業

\* 自家用操縦士実地試験実施細則の見直しに関する意見具申

標記について、各滑空団体、認定講師、滑空記章試験員、指定養成施設担当者からのご意見を集約して、8月27日JAPAを通じて航空局に提出。主な共通意見は下記

- ① 着陸時のスリッピングターン、サイドスリップ、フォワードスリップの実施からの廃止、ダイブブレーキを使用したアプローチコントロールのほうが安全確実。
- ② 地上目標を中心とした旋回課目の廃止、グライダーでは実施しづらく、根拠が薄い。
- ③ ウィンチ曳航だけで終了できるような配慮など

\* 航空局より毎年提供される最新送電線基礎データ(送電線位置情報)をデータ要望のある滑空クラブなどに提供。8/17

### 3. 滑空スポーツ愛好者育成事業

\* 特になし

### 4. 滑空スポーツ競技会関連事業

\* 第16回「原田覚一郎杯」大学対抗グライダー競技大会

8/8（水）～16（木）於妻沼滑空場

出場校：日本大学、東海大学、関東学院大学、青山学院大学、学習院大学、中央大学。  
最優秀選手、団体優勝校に滑空奨励賞を授与。閉会式に甲賀出席、賞状授与。

\* 第32回世界滑空選手権大会（WGC2012 Uvalde）

15mクラス、18mクラス、オープンクラスについて、8月4日から19日まで米国テキサス州 Uvalde  
で開催され、25カ国から98名の選手が集まりました。日本からは市川展選手が15mクラスに Diana  
2で出場し、37選手中12位になりました。各クラス上位は下記です。

当協会はささやかながら、大小日章旗と国歌CDを貸し出して支援。

Open Class

1st : Laurent Aboulin (FRA) 2nd : Michael Sommer (GER) 3rd : Oscar Goudriaan (南ア)

15M Class

1st: Sebastian Kawa (POL) 2nd: Matthias Sturm (GER) 3rd: Radek Krejcirik (CZE)

18M Class

1st: Zbigniew Nieradka (POL) 2nd: Lukasz Wojcik (POL) 3rd: Mike Young (GBR)

Team Cup

1st: ポーランド 11842.61 2nd: イギリス 11757.50 3rd: ドイツ 11694.61

なお、ワールドクラス、クラブクラス、スタンダードクラスの#32WGC2012 は2013年1月5日～20日 Adolfo  
Gonzalez Chávez（アルゼンチン）で開催される予定です。

以上